

キンボール 報告書

実施期日：2025 年 11 月～12 月

授業名：3 年スポーツ（選択授業）

対象生徒：12 名（男子 10 名、女子 2 名）

生徒観：本校は 1 学年 1 クラスの小規模校で、3 年生 21 名（男子 14 名、女子 7 名）という小さな集団である。小集団のため大きなトラブルはないが、小集団にありがちな人間関係の固定化、声の大きな者の意見等が全体の雰囲気左右するといった問題等が多分に漏れず見られる。放課後はアルバイトをする生徒が多く、運動部活動に取り組む生徒は全生徒（94 名）のうち 5 名に留まる。

スポーツ選択生徒は体を動かすことは好きであるが、他者や全体への配慮に欠ける言動がみられ、飽き性の生徒が多い。また見た目のわかりやすさにとらわれることが多く、戦術的な思考やプレー、アシスト、サポート、カバーといったプレーができない生徒が多い。

種目選択の理由：この授業では、用具や場所設定等の都合を含め、体育では取り上げない種目、また経験や年齢を問わず生涯にわたり手軽に取り組めるニュースポーツを取り扱うことが多い。

キンボールでは、敵チームの守備位置を見てのヒット、仲間の守備位置を確認し自身の守備位置を決める・声を掛け合う等の連携、攻守共に仲間と協力する態度等を体現してほしいと考え、設定した。

授業の様子：授業前、大きなボールに興味津々で掴もうとする、投げる、蹴る等食いつきは上々。ルールを説明し、開始すると味方が集まる、プレーの邪魔をする、走らない、フォローに行かない等々課題山積の状態。相手を取りにくいようにとコールと同時、あるいはヒット後にコールするといったミスや水平以下に飛球するヒットのミスが頻発した。またセットしてからどこに打とうか時間をかけて探そうとするなどスピーディーな展開にはなかなか至らなかった。他の競技をしても一発で決めてやろう（得点してやろう）というプレーが目立つのと同様に、ヒットするときはどうしても点を取りたい（決めたい）と思う様子が目立ち、相手を動かす、展開の中からチャンスを作り出すといったところにはつながりにくかった。展開を先読みできる生徒は主体的に動いていたが、味方に声かけ（指示）をする等は人間関係が固定化してしまっている中では難しく、スピーディーな展開には至らなかった。

感想：今回の選択授業では種目の本質を楽しむことが難しい生徒が複数名いたので、全体の士気に欠けた部分がみられた。何事にも一生懸命取り組もうとする生徒に申し訳なく、せっかくの機会を生かしきれなかったことが残念である。回数を重ねることで徐々にその面白さを味わえるようになったのかも知れないが、限られた期間の中では、十分に面白さを体験させることができなかった。もっと単純に興味関心を持ち夢

中になってくれるものと思っていた我々教員にとって、「どうしてボールをおっかけない???’という驚きとまさかの生徒の様子に戸惑うこととなった。導入（誘導）をどう展開するかなど、改めて授業の難しさを感じた。

これを機に今一度授業の展開やその種目の楽しさをどのように伝えていくか等を考え、より良い授業に努めたいと思う。

今回、貸し出しをしていただいた一般社団法人キンボールスポーツ連盟さまにお礼を申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

和歌山県立海南高等学校大成校舎

体育科 段木雅博

